

ついに始まった中国留学生活

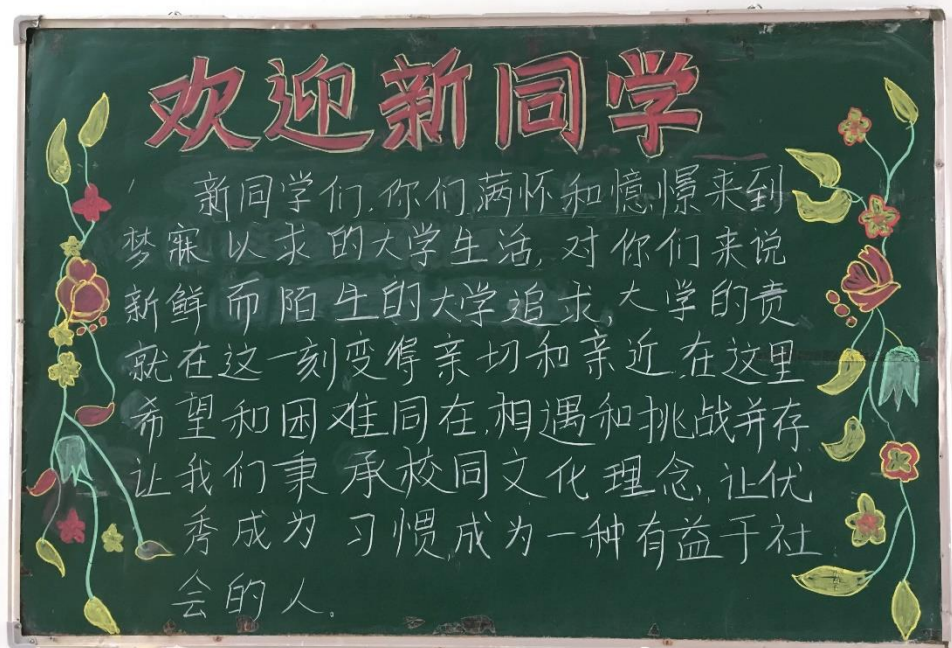
吉村千陽

8月31日に日本を発ち、上海経由で太原空港に到着した。荷物を受け取り空港の外に出るとよく映画で見ていたような中国らしい電光掲示板がキラキラ輝いていた。その光景に中国生活の始まりを実感させられた。迎えに来てくれた先生に寮まで送ってもらい、その日の夜はすぐに床に就いた。

次の日学校内を探索した。日本の大学と比べて中国の大学はとても広くなんでも大学内で買うことができる。スーパー、食堂、コンビニ、カフェ、カラオケ、電気屋、美容院、眼鏡屋、薬局、ネイルサロン、一番ビックリしたのは猫カフェ。まるで一つの町のような。また大学内に大きな湖があり散歩やランニングをするにはピッタリだ。



9月4日にオリエンテーションがあり、5日から授業が始まった。以前までは初級、中級、高級の3クラス編成だったみたいだが、今回は初級をさらにレベル分けをして初級A、Bと4クラス編成になっていた。A班では英語で授業を行っていくが、B班では中国語で授業をしかつ進度も早い。教科書の内容は簡単ではあるがリスニングとスピーキングの能力がほとんど0に近い私にとって先生の言っていることを理解することにはかなり苦戦した。それに、B班の先生達は英語がほとんど話すことができないので、中国語で自分の意思を伝えなければいけないのだが、なかなかうまく伝えることができず心にもどかしさを覚えた。授業内容は、会話、リスニング、読解が週二日。精読が週四日になっている。クラスが少人数のため先生と生徒との距離がとても近く質問や発言のしやすい環境である。



9月22日に新入生歓迎会という大きなイベントがあり、留学生みんなで歌や踊りを披露した。曲を決め、振りを作り、衣装や構成を考えて、授業終わりにみんなで集まって何度も練習をした。国が違えば文化も言語も違うが、そんなの関係なく同じ一つの目標に向かって協力し合って何かを作り上げることはとても素敵なことだと改めて実感した。この会をきっかけに友達が増え、留学生同士の仲も深まったと思う。

まだここにきて一ヶ月しかたっていないが、すでに素敵な思い出や出会いで胸がいっぱいだ。これから先の留学生活もとても楽しみである。

